

## 尾原ダム（斐伊川）の貯水状況について

斐伊川上流の尾原ダム（国管理の治水・利水ダム）については、昨年秋から続く少雨により例年になく貯水量が少ない状況で、今後の利水面の影響が危惧されるところです。現在の貯水状況等について報告いたします。

### 1 尾原ダムの状況 [2月14日 8時時点]

#### (1) 貯水量

1,912 万 m<sup>3</sup> 貯水率 61.5% (1,912 万 m<sup>3</sup> / 利水容量 3,110 万 m<sup>3</sup>)

尾原ダム流域 累加雨量(11月～1月) 229.9mm 過去最低

奥出雲町横田の累積降雪量(11月1日～2月13日) 37 cm 平年値 315cm

昨年同期の貯水率 62.8%も過去最低であったが、本年はさらに低い状況

#### (2) 放流の状況

毎秒 1 m<sup>3</sup>を放流 (河川維持流量＝最小の放流量)

### 2 斐伊川の利水運用の状況

#### (1) 尾原ダムの利水運用ルール

期間	時期	計測地点（上島町）の確保流量
11月1日～3月20日	非かんがい期	毎秒 7.5 m <sup>3</sup>
3月21日～4月30日	かんがい期	毎秒 15.2 m <sup>3</sup>

・2月14日8時時点の計測地点流量：毎秒 29 m<sup>3</sup>

・3月21日以降の対応については、2月下旬開催予定の「斐伊川渇水調整協議会」において協議

#### (2) 斐伊川渇水調整協議会について（事務局：国土交通省出雲河川事務所）

・国、県、関係市町等で構成

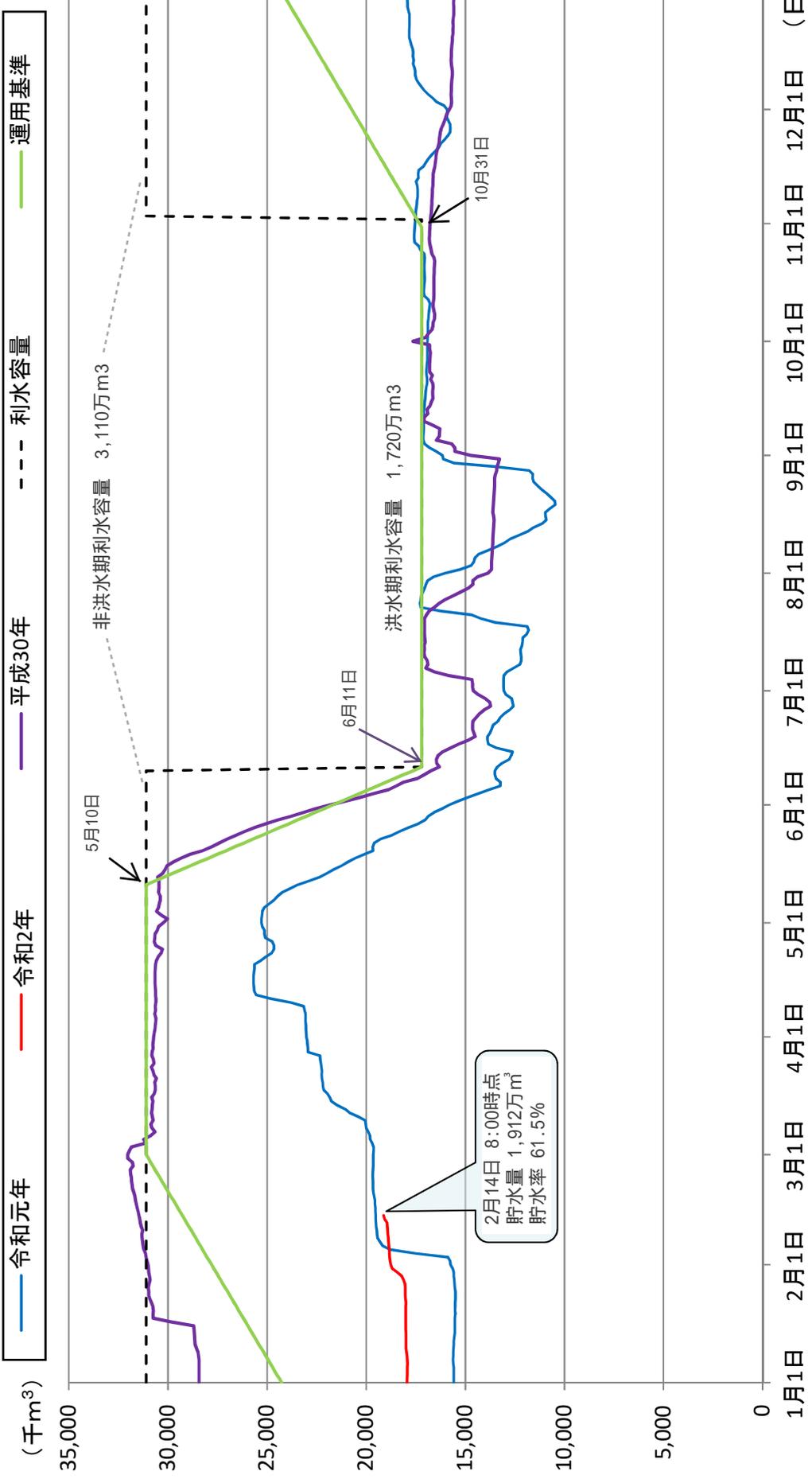
・1月28日 幹事会開催 現時点では計測地点流量は確保されており、尾原ダムからは河川維持流量（毎秒 1 m<sup>3</sup>）の放流が継続されることを確認

・2月下旬から逐次幹事会の開催を予定

渇水調整協議会で確認した内容については、市から農業関係の団体（JA、土地改良区、農業共済組合等）へ伝え情報を共有しています。また、渇水を想定した対応の検討を今後進めていきます。

# 資料1

## 尾原ダム貯水量グラフ(H30、R1、R2実績)



尾原ダム操作観測上の  
流水の正常な機能の維  
持のため必要な流量  
(上島地点)と適用期間

非かんがい期 (9月6日～3月20日) 7.5m<sup>3</sup>/s

かんがい期 (3月21日～4月30日) 15.2m<sup>3</sup>/s

しろかき期 (5月1日～6月20日) 16.3m<sup>3</sup>/s

かんがい期 (6月21日～9月5日) 15.2m<sup>3</sup>/s

非かんがい期 (9月6日～3月20日) 7.5m<sup>3</sup>/s

洪水期 (6月11日～10月31日) 21m<sup>3</sup>/s (上島地点 貯制限流量 通年)

非洪水期 (11月1日～6月10日)

非洪水期 (11月1日～6月10日)